

---

## 2月5日～雨の日の教室～

p p

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

2月5日ゝ雨の日の教室ゝ

### 【Nコード】

N4165A

### 【作者名】

pp

### 【あらすじ】

学校に居残りにされてしまった由希。自分が課題を進めている中、男子2人が遊び始めてしまい、イライラした由希は、てきとうに課題を終わらせて帰ってしまう。それを見たゴンタの行った行動とは・・。

「星野！お前は今日残りだぞ！」

先生の言葉に、正直ムカツとくる由希。

だが、しかたがない。3学期の振り返りカードを提出していないのだから・・・。

「由希、また明日ね。」

「バイバイ！」

帰って行く友達。そして、同じ理由で居残りにされている男子数人。  
(や、ヤバッ！)

なにもともあれ、由希の学年(6年生)は男子と女子が対立していて、異性との会話など許されないのだ。

そのメンバーは明らかにどこかで見たことがあった。

(あの時と同じ・・・)

残っていた男子は、ゴンタ(小野)とミツツ(光石)だった。  
前にもこのメンバーで居残りにされたことがある。

その時は、ゴンタの悪戯を内緒にする代わりに、ミツツの好きな人を教えてもらったりした。

そして、最後には由希がまっくん(松林)が好きだということがゴンタにバレてしまった。

正直いうと、由希はわずかにゴンタが好きだった。しかし、本命はあくまでも6年2組のまっくんだ。

まっくんはゴンタと正反対の性格で、やさしくて頭がよかった。しかし、スポーツは苦手。

ゴンタは意地悪で、発想力がある替わりに記憶力がほとんどなかった。そして、スポーツが得意だ。

由希はそんなことを考えながら、3学期の振り返りカードを仕上

げていた。

『学習に関する反省：それぞれの教科の授業態度や成績で、良かった所と悪かった所をそれぞれ記入しましょう。』

（そんなの知るか！）

はつきり言つて、由希はまじめに勉強していない。授業中はおしゃべりしているか、落書きをしている。

『国語』

良かった所：テストの点数が良かった。

悪かった所：授業をきちんと聞いていなかった。教科書に落書きをしてしまった。』

『算数』

良かった所：テストの点数が良かった。

悪かった所：授業を全く聞いていなかった。教科書にある人の悪口を書いてしまった。』

『理科』

良かった所：実験の準備をきちんとできた。自分の意見を言えた。  
悪かった所：ノートをとっていなかった。』

『社会』

良かった所：テストの点数が良かった

悪かった所：調べ学習の作品をすべて未提出。授業中に寝てしまった。』

由希はすべて本当のことを書いている。しかし、このような内容だとゴンタよりも酷い成績が付くかもしれない。

ボコッ

ペットボトルのへこむ音がした。

「星野！俺達今日も遊ぶから、先生には黙ってるよ！」

ゴンタは前と同じく、今日も遊ぶ气らしい。

「わかった！」

由希はもうゴンタ達にはつきあっていられなかった。

ゴンタはミツツと、ペットボトルでキャッチボールを始めた。

ボコッ

ベコッ

集中力が落ちていく由希。最後はいやになって、適当にらんをうめた。

『クラブ活動で：来年クラブの始まる3年生に、ボードゲームのコツを教えた。』

最後は『賞状をもらったなど、表彰されたこと』のらんに、『あるわけありません。』と書き、先生の机の上に置いた。

「ゴンタ！私帰るからね！」

由希がさっさと帰ると、ゴンタは寂しそうな顔をした。

「・・・ミツツ、俺達も帰ろうぜ。」

「えっ？」

「帰るって言ってるんだよ！」

ゴンタは由希のことが好きだった。由希と一緒にいたかった。由希の気をひきたかった。

結局、ゴンタはミツツーを教室において来た。外は大雨だった。

（俺の心の中みてーじゃん。）

その時、ゴンタは初めて自分が惨めな気持ちだということがわかった。

（また明日、由希に会えたらいいな。）

校庭を走って横切るゴンタは、男の子から男性にかわりつつあった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4165a/>

---

2月5日～雨の日の教室～

2010年10月17日06時39分発行